



『富士の山現代アートをかたらう会』略して“FGAK”です。
現代アートが好きなの人も、よくわからない人も、一緒に語らしましょう。

FGAK
in 富士 **2 / 15 (土) 15:00~17:00**

会場：富士本町商店街 イケダビル3階

静岡県富士市本町8-4



「アートと地域の可能性」

講演内容

第1回目の富士の山ビエンナーレ2014ディレクターで、現在中之条ビエンナーレ総合ディレクターの山重徹夫さんに、アートと地域の可能性についてお話しいただきます。この機会にみなさんでこれからの地方芸術祭のあり方を考えていきましょう。

お問い合わせ：富士の山ビエンナーレ実行委員会

E-mail: contact@fujinoyama-biennale.com

TEL: 0545-81-0063

<http://fujinoyama-biennale.com/>

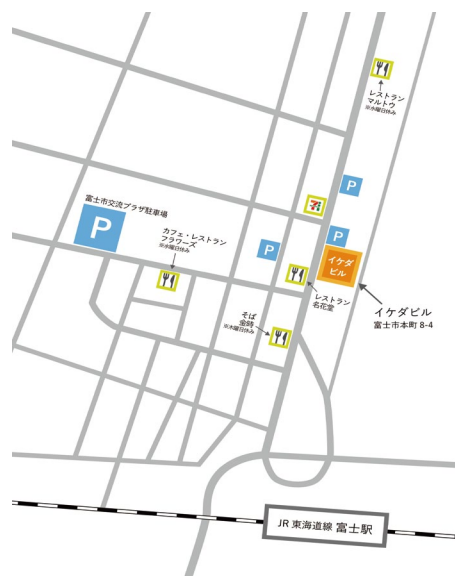
主催 富士の山ビエンナーレ実行委員会

共催 静岡県文化プログラム推進委員会

助成：静岡県文化財団 ふじのくに文化プログラム推進事業助成

富士市市民活動支援補助金

事務局：富士の山ビエンナーレ実行委員会（株式会社ヤツクラ内）



山重徹夫 プロフィール

1975 年 | 広島県生まれ。

多摩美術大学を卒業後、都内デザイン会社で制作ディレクターを務める。独立後は専門学校の講師やプランナーなどを経て、デザインスタジオ PlaygroundStudio を設立。

多くの企業でクリエイティブチームに参加し、テレビ番組や広告からアプリケーションUIなどの幅広いメディアでデザインワークを担当。

2006 年より地域独自の視点から芸術文化を発信することを目的に、中之条ビエンナーレを立ち上げ、総合ディレクターを務める。その後、クリエイティブコミュニケーションセンター tsumuji をプロデュースし、地域特性を活かした商品デザインやイベント企画などを展開。現在は総合的な地域ブランディングや海外芸術交流をはじめとするアートプロジェクトなど、日本各地で地域文化振興事業を行っている。



最近の主な仕事に、中之条ビエンナーレ（群馬）総合ディレクター
クリエイティブコミュニケーションセンター tsumuji（群馬）総合ディレクター
東京藝術大学 講師／高崎経済大学「アーツマネジメント論」講師
倉庫現代美術館（群馬）館長／富士の山ビエンナーレ（静岡）総合ディレクター
逗子アートサイト（神奈川）総合ディレクターなど



1995 年に伊参スタジオを拠点に小栗康平氏が「眠る男」を撮影し、1998 年に有笠山荘で平松礼二氏が吾妻美学校を開校し、2006 年に再び伊参スタジオで私と作家仲間たちで中之条ビエンナーレを開催するという一連の芸術文化事業は、確実にこの町に良い形で根付いていると感じます。そして何より、中之条町が 20 年も前から映画や美術など創造的なものを受け入れ、言うなれば町全体でアーティスト・イン・レジデンスを続けてきたということは、本当に有意義で素晴らしいことだと思います。ここ数年間、過疎化が進む地域で、新たな芸術文化が作られ育まれていく様を目の当たりにすることが出来たことは、私にとって誇らしい経験です。

これからも、この土地と人との出会いを信じて、活動を続けていきたいと思っています。